

1 平成29年度予算のポイント

昨年は、G7エネルギー大臣会合やワンヘルスに関する国際会議など市制始まって以来の大規模国際会議が開催されたほか、「50歳から住みたい地方ランキング1位」などとしてメディアに取り上げられるなど、国内外に広く、本市の強みや住みやすさが発信されました。

このような好機をしっかりと捉え、新しい人の流れをつくり、女性や若者などの定着につながるまちの魅力を創出・発信し、アクティブシニアを含めた本市への定住・移住を積極的に推進していきます。

「住みよいまち・北九州市発信予算」 5つの柱

①新しいひとの流れをつくり、女性や若者が定着するまちの創出

新しい人の流れをつくり、女性や若者の定着につながるようなまちの魅力を創出・発信し、アクティブシニアを含めた本市への定住・移住を積極的に促進します。

また、本市の優れた文化・芸術を発信することにより、シビックプライドを醸成するとともに、観光インバウンド対策を推進し、まちのにぎわいの創出につなげていきます。

②学校施設等公共施設の老朽化対策の推進

公共施設等において天井や外壁のコンクリート等の落下事故が発生したことを受けて、公共施設等の老朽化対策に重点的に予算配分を行うことにより、市民が安心して公共施設等を利用できるように努めます。

③本市の強みを活かし、魅力あるしごとを創出

本市の強みを活かして、産業を振興し、魅力ある仕事を創出するため、「国家戦略特区」や新成長戦略を推進します。

また、市民生活に身近な公共事業を実施することで、地域経済の活性化につなげていきます。

④安心して子どもを産み育てることのできるまちの創出

子育て支援については、保育所や認定こども園の整備などの待機児童対策や、子どもの自立を支えるための支援など、子育て環境の更なる充実に取り組み、「子育て日本一を実感できるまち」の実現を目指します。

また、子どもの教育については、学力の向上を図るとともに、特別支援教育の充実や子どもの読書活動の推進など、教育環境の向上を図ります。

⑤誰もが安心して暮らせるまちの創出

健康で長寿の社会づくりを進めていくため、地域包括ケアシステムの構築など、地域の実情やニーズに応じたきめ細かな高齢者政策に取り組みます。

また、「北九州市安全・安心条例」に基づき、市民の防犯意識の向上・犯罪を防止する環境整備等、防犯対策を進めるとともに、犯罪を防ぐ環境整備や防犯対策の強化を進め、浸水対策などの防災対策を推進します。